

平成29年度第1回 同窓会役員会 議事録案

〔日 時〕平成 29 年 4 月 13 日（木）19：00～21：00

〔会 場〕凌雲会館 会議室A

〔出席者〕戸高、染矢、牧、木前、小松、黒木、後藤、平井、堀田 *敬称略

〔議長〕戸高

〔書記〕事務局員 黒木

〔配布資料〕・平成 28 年度第 12 回役員会議事録

- ・なな会結成 20 周年記念イベント企画案(MRT ラジオ公開生放送企画)および見積書
- ・ホームカミングデイ懇親会フレアバーテンドー見積書
- ・平成 29 年度会報企画内容表、 ・「白い家」資料写真
- ・平成 28 年度同窓会凌雲なな会一般会計決算(案)

議題 1. なな会 20 周年記念事業

I. 凌雲祭でのラジオ公開生放送企画について

A. 企画案と予算の確認（別添資料参照のこと）

《これまでの流れ》

前回の役員会まではFM宮崎で公開生放送をと考えていたが、FM宮崎は土曜の昼間に番組を持っていなかった。しかし録音放送ではなく公開生放送を実現したいので、MRTラジオとのコラボ企画を模索している段階である。

1. ラジオとのコラボ企画について

《目的》

- ・遠方のOBにもリスナーとしてホームカミングデイへの参加を促したい。
 - ・OBにも在校生にも対外的にも同窓会の存在をアピールしたい。
 - ・ラジオの公開生放送という企画を通してOBや在校生間でのネットワークを作りたい。
- ※そもそも番組の宣伝は必須！（会報や Facebook で）

《メリット》

- ・現地に来られないOBもリスナーとして参加できる。
- ・イベント感が出せる、記念にふさわしい企画。
- ・宮崎公立大学を広くにPRできる。
- ・ラジオとのコラボ企画が凌雲祭の広報にも役立てば、翌日まである凌雲祭の集客に繋がる。
- ・MRTスタッフがいるので同窓会役員の数でも賄える。

《留意点》

- ・主役はあくまでも公立大学に関わっている人。

知名度のあるパーソナリティーや番組の色が前面に出たら、公立大学に関わる人たちのための番組を作ることが難しい。

(しかしMRT的にはメインパーソナリティーを外すことはできないと思われる。)

- ・電波のみ借りてゼロベースからつくるのはどうか…？

→オープニングBGM、脚本など全て作る。

- ・いつものリスナーさんを退屈させないことも大事。

- ・外部からのゲストとして東村アキコさんがゲストインできれば、公立大学外のリスナーとのやり取りも成立する。

B. 凌雲祭と同日開催にすることについて

1. 凌雲祭実行委員へ交渉が必要。

2. ラジオ企画のために凌雲祭ステージを使用すると前準備・撤収でステイベと時間の兼ね合いが取れない。

→公開生放送の特設ブースは凌雲祭ステイベのそばに構える。

(ステイベのステージと近くても、ラジオの音響的にはなにも支障はない。)

(リクエスト曲を流す間はステージ上で別の企画を進行してもらってもいい。)

3. 雨天時はステイベを講堂で優先。ラジオは講堂ロビーで？(MRTと今後相談)

4. 東村アキコさんがステイベでトークショーをすることはできないか凌雲祭実行委員に交渉してみる。

5. 凌雲祭(10月28日)と同日開催として、おしごとカフェとラジオ公開生放送企画を並行してできるか。タイムスケジュールや動き方など具体化していくことが必要。

6. 凌雲祭と同日開催でラジオ公開生放送をやる場合、ホームカミングデイ11月3日案は無くす。

7. 懇親会は大学とは別会場で。大学では中夜祭があるので学食使用は不可。

シャトルバスで別会場へ異動。(候補は micc ? エアラインホテル?)

パーティー専用会場で開催すると後片付けなしでOKなうえ、参加者はそのまま街中のお店へ繰り出しやすい。

II. 東村アキコさんについて

※お話していただくテーマによっては出演OKかもしれない、というお返事だった。

A. トークテーマについて

1. 東村さんの得意分野に特化したテーマで好きに語ってもらえるほうがいい。
 - ・恋愛をテーマに学生・OBを応援できるような元気づけられるようなポジティブな気持ちになれるトークショー、恋愛相談。男子学生が少ない公立大学にて「草食男子に物申す」。
 - ・四方先生と「女子」を語ってもらう。
 - ・ギャグ要素アリ？建前ではなく本音でのトーク。
 - ・宮崎らしさを絡めなくていいのか？
 - ・県外で頑張る公立大学生に向けて

B. 広報について

1. 東村さんの作品ビジュアルを用いた広報必要。ギャラをお支払して公立大学に関連のあるなにかを描いてもらうというのも案としていいのでは。

C. その他

1. 東村アキコさんへの謝礼案 …50万円＋交通費・宿泊費等(お付の方2名程含む)
2. トークショーをどこでやるにしろ無制限に人を入れられる場所はない。観覧車数に制限を設けるのはアリ。
公募→チケット返送(当日入場は受け付けない)という流れを採用。

議題2. 会報

I. 検討事項について(別添資料参照のこと)

A. 「あの店はいま」…記事体裁を横書き/縦書きどちらにするか

体裁については時間の都合で触れられなかった。取材後、編集に取り掛かる前に検討する。

B. 「ノスタルジックフォト」…写真撮影、記事執筆を誰が担当するか

写真撮影、記事執筆ともに後藤さん。

C. 「なな会20周年告知フライヤー(4色刷り)」…誰がデザインを担当するか

OBにお願いできるか要検討。

D. 校正時期(昨年参考)

6月20日過ぎに初校を入れたい。

→7月1日再校。7月10日校了。(昨年は15日まで修正を受け付けてくれた。)

→7月28日～ 発送作業開始。

議題3. その他確認、報告等

I. 事務局よりご報告

A. 平成28年度決算(案) (別添資料参照のこと)

会計監査を6月上旬までに予定している。監査後、会報にて報告する。

◆次回役員会開催予定

日 程 : 5月9日(火)か10日(水)のいずれか

場 所 : 凌雲会館 会議室A (もしくは共同研究室I)

時 間 : 19~21時

協議事項 : ①なな会結成20周年記念事業について